

園芸や印刷など実習9教室



岐阜市小西郷の岐阜特別支援学校に、中学部や高等部の生徒が働くスキルを身に付ける作業学習を充実するための「作業棟」が建てられ、16日に保護者らに公開された。(小森直人)

岐阜特別支援学校

作業棟は鉄筋コンクリート2階建て、延べ新設された園芸室で生徒が収穫した野菜の販売準備作業を見学する来校者
岐阜市小西郷、岐阜特別支援学校

新「作業棟」生徒が技磨く

965平方メートル。児童生徒の増加による教室不足解消も狙って、市が約3億円を投じて中学部棟の南隣に整備した。1月末に完成し、先月下旬から生徒が利用している。

新たに設けた中学部がこぼれても掃除しや用の紙すき工芸室や染色工芸室、高等部用の園芸室をはじめ、従来の2倍以上の広さで風通しを良くした印刷室や天井まである整理棚を作り付けた委託加工室など九つの教室がある。この日は、保護者や自治会長ら約40人が訪れ、教員の案内で各教室を見学。高等部の生徒が園芸室で収穫した野菜を洗って販売

用にそろえたり、広々とした印刷室で名刺を製作したりする姿に触れ、理解を深めていた。

